

モンゴル

2009年後半期のモンゴル経済には、世界経済金融危機の衝撃からの回復のきざしがいくつか見られ、第4四半期のGDPは前年同期比でプラスに転じたが、通年の成長率では市場経済への移行に伴う経済の縮小から回復した1994年以降、はじめてのマイナス成長を記録することとなった。経済活動は財政収支と貿易収支の赤字を伴い停滞している。失業者数は多く、為替レートは減価している。

GDPの20%以上を占める農業部門は、世界経済金融危機の影響が比較的少なく、第1～3四半期においてもプラス成長を持続していたが、この冬の厳しい寒さによって多くの成畜が死亡した。この状況は2010年1月に入っても続いている。

マクロ経済指標

2009年の名目GDPは6兆558億トゥグリグ（42億ドル）で、実質成長率はマイナス1.6%であった。1人当たりGDPは2008年の1,920ドルから、1,536ドルに低下した。GDPの縮小は主に、建設業（48.8%減）、卸・小売（26.6%減）、金融仲介（20.4%減）、製造業（11.1%減）などの部門における付加価値額の減少によるものである。一方、鉱業は3.7%、農業は1.5%、それぞれ付加価値額のプラス成長を記録している。

消費者物価を基準としたインフレ率は、10月は前年同月比0.9%で、11月には同3.5%に上昇した。これは11月に前年同月比0.2%下落した食料品・非アルコール飲料、同じく3.8%低下した運輸サービスを除く、全ての項目が0.3%～20%上昇したためである。

2009年12月末の通貨トゥグルグの対米ドル為替レートは1ドル＝1,443トゥグルグで、前年同期比13.8%の減価となった。また、12月末においてトゥグルグは、韓国ウォンに対しては前年同期比22.8%、中国元に対しては14.1%、日本円に対しては同11.5%、ロシアルーブルに対しては同10.6%。それぞれ減価した。

経済、特に鉱工業及び建設業の停滞により失業者数は高い水準となり、2009年12月末の登録失業者数は38,077人となった。これは前年同期を28%上回っている。2010年1月の失業者数は36,320人で、やや減少した。

失業者の半数以上が失職によるもので、残りが新規登録によるものである。一方、労働力調査によれば15歳以上の経済活動人口のうち、119,000人が失業しており、失業率は10.5%に相当するとしている。

財政収支は第4四半期に40億トゥグリグ、12月に330億トゥグリグのそれぞれ黒字を記録したが、年間の赤字額はGDPの5.4%に達した。低下した歳入と、財、サービス、資本支出を除き増加した歳出が赤字を生じさせている。

2009年12月末の融資残高は前年同期比0.7%増となっている。一方で不良債権の額は同時期に2.4倍に増加している。12月末の外貨準備額は11億ドルで、前年同期を5億ドル上回っている。

産業と外国貿易

2009年第4四半期の産業生産額は前年同期比10.9%増であったが、通年の生産額は前年比3.3%減であった。このうち、製造業の減少幅は14.2%で、全体の生産額を押し下げた。一方、鉱業は前年比2.2%増、エネルギー・水供給部門は同1.8%増であった。しかし、2010年1月の産業生産額は、前年同月比15.4%増となっている。

モンゴルの貿易総額は2009年3月から回復をはじめ、2009年通年では40億ドルとなった。このうち輸出が19億ドル、輸入が21億ドルである。しかし貿易総額は前年を30.2%下回り、同じく輸出は24.9%、輸入は34.3%下回った。貿易収支の赤字は2.29億ドルで、GDPの5.5%となった。

2009年のモンゴルの貿易相手先は118か国であった。このうち北東アジアのシェアは輸出で77.5%、輸入で72.9%であった。

農業部門

2009年において農業部門はGDPの21.2%を占め、付加価値額は前年を1.5%上回った。2009年における家畜頭数は4,400万頭で、そのうちヤギ1,970万頭、羊1,930万頭、牛260万頭、馬220万頭、ラクダ30万頭であった。

しかし2009年中に、冬の厳しい寒さにより、170万頭の成畜が死亡した。これは2003年以来、最も多い頭数であった。2010年に入り事態は悪化しており、1月には190万頭の成畜が死亡した。モンゴルで“ゾド”と呼ばれる、自然災害の状況を呈している。

政府の「第三次作付計画」に基づく施策により、2009年には392,700トンの穀物（うち388,100トンは小麦）、151,500トンのジャガイモ、78,000トンの野菜が収穫された。穀物の収穫高は前年を84%、同じくジャガイモは12.2%それぞれ上回った。しかし干し草の収穫高は前年を13.3%、自家製飼料の生産高は前年を32.8%それぞれ下回った。これが“ゾド”の家畜への被害を拡大させる要因となった。

(ERINA調査研究部研究主任 Sh. エンクバヤル)

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2009年1Q	2Q	3Q	4Q	2009年12月	2010年1月
実質GDP成長率 (対前年同期比: %)	7.3	8.6	10.2	8.9	▲ 1.6	▲ 4.3	▲ 3.0	▲ 4.1	3.8	-	-
産業生産額 (対前年同期比: %)	▲ 4.2	9.1	9.7	2.8	▲ 3.3	▲ 8.3	▲ 6.7	▲ 13.6	10.9	21.3	15.4
消費者物価上昇率 (対前年同期比: %)	9.5	6.0	15.1	22.1	4.2	16.3	6.3	0.0	4.2	4.2	5.7
登録失業者 (千人)	32.9	32.9	29.9	29.8	38.1	34.8	39.5	40.4	38.1	38.1	36.3
対ドル為替レート (トゥグルグ)	1,221	1,165	1,170	1,268	1,443	1,524	1,436	1,429	1,443	1,443	1,456
貿易収支 (百万USドル)	▲ 113	107	▲ 114	▲ 710	▲ 229	▲ 72	▲ 58	▲ 61	▲ 38	5	32
輸出 (百万USドル)	1,064	1,542	1,948	2,535	1,903	322	441	531	609	224	164
輸入 (百万USドル)	1,177	1,435	2,062	3,245	2,131	394	499	592	647	219	132
国家財政収支 (十億トゥグルグ)	73	123	133	▲ 306	▲ 329	▲ 107	▲ 154	▲ 71	4	33	▲ 66
国内貨物輸送 (百万トンキロ)	10,268	9,693	9,030	9,051	8,981	1,777	2,404	2,304	2,496	-	-
国内鉄道貨物輸送 (百万トンキロ)	9,948	9,226	8,361	8,261	7,817	1,686	2,061	2,036	2,034	726	661
成畜死亡数 (千頭)	677	476	294	1,641	1,733	598	840	72	223	172	1,861

(注) 消費者物価上昇率、登録失業者数、為替レートは期末値。産業生産額は、鉱業、製造業、エネルギー・水供給部門を含む。

(出所) モンゴル国家統計局『モンゴル統計年鑑』、『モンゴル統計月報』各号 ほか